

## カワトンボ (アサヒナカワトンボ)

胸部や腹部が金緑色に輝くカワトンボの仲間です。オスは成熟すると腹部、胸部が白っぽい粉を吹いたようになります。主に日当たりのよい水のきれいな川に生息します。

このトンボの一番の特徴は、オスに2つのタイプが現れることです。メスは無色透明の翅を持ちますが、オスには、メスと同様の無色透明な翅をもつタイプと、鮮やかなオレンジ色の翅を持つタイプがあります。これら翅の色の違うオスは、縄張りの持ち方にも違いが見られます。

4月から6月ごろに出現し、山間地では7月に入っても見られます。産卵はメスが単独で水面に出た水生植物の茎などに静止して行います。

静岡県内の伊豆半島から富士山周辺に見られる個体群は、厳密に言うと他の地域のアサヒナカワトンボとは遺伝子のタイプに違いがありますが、一応アサヒナカワトンボとしておきます。



### 富士市での現状

旧富士川町域だけで記録されています。旧富士市域で確認されていないのは、丘陵地、低山地の周囲がやや開放的でヨシなど抽水植物が茂る清流のような環境が非常に限られることが理由かもしれません。

### カワトンボ (アサヒナカワトンボ) を確認したメッシュ

